資料No.２

提供年月日：令和４年(2022年) ６月29日
部　局　名：日野町役場
所　属　名：企画振興課
担 当 者 名：小島
連絡先(内線)：0748-52-6550

資　料　提　供

日野町の取り組みが「夏のDigi田 甲子園」の滋賀県代表に！

日野町では、昨年度からワクチン接種予約システムの開発や税務相談予約システムの実証実験等を「官民共創」による「アジャイル開発」により推進してきましたが、今般、この取り組みが評価され、国が「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて新たに行う「夏のDigi田甲子園」の滋賀県代表に選出されました！

「夏のDigi田甲子園」とは

「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、全国の地方公共団体を対象として、デジタル技術の活用により、地域の課題を解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっている取り組みに対して、内閣総理大臣が表彰を行うものです。

※これまでに全国の都道府県による“地区予選”が終了し、７月12日～８月15日には、国民によるインターネット投票が行われます。

代表選出された取り組みの概要

「KKO（勘･経験･思い込み）」ではなく、デジタル技術を活用した「エビデンス」に基づく政策形成･EBPMプロセスの実現。

※EBPMとは、エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングの略称。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで客観的根拠（エビデンス）に基づくものとし、政策効果の測定に重要な統計等のデータを活用した上で、国民への行政への信頼確保を行うこと。

〇技術者と行政職員が、課題認識や最終目標を共有しつつも詳細な仕様を定めることなく、毎週１回定例的にWEB会議を実施し、「作りながら考え」「考えながら作る」という「アジャイル開発」により、変化するワクチン接種の運用要件に迅速に対応。
〇デジタルに不慣れな町民に寄り添ったシステムを、短期間で現場の状況にあわせた予約システムを開発することができた。
〇完成したワクチン予約システムを、町職員の提案により、税務相談予約システムとして転用することとし、これも「アジャイル開発」により実現することができた。

※ワクチン接種予約WEBシステム（開発期間：約1.5ヶ月）
※ワクチン接種予約IVRシステム（開発期間：約1.5ヶ月）
※確定申告相談予約WEBシステム（開発期間：約１ヶ月）

取り組みの３つの特徴

１　デジタル技術活用による「エビデンスの把握」

HP 上で、ワクチンメーターを設置することにより、予約動向のリアルタイムデータの確認が可能になった。

２　協力企業との臨機応変な「アジャイル開発」

週次にて WEBMTG を実施し、「作りながら考え」「考えながら作る」というアジャイル開発により、変化するワクチン接種の運用要件に迅速に対応。短期間で開発することができた。

３ デジタルに慣れない層にも配慮した「デジタルデバイド」対策

「町民にとって、利用しやすいシステムの実現」という目的を共有し、町民から吸い上げた声をもとに、役場側の意見と、協力会社側でのシステム観点の意見の議論・調整を行い、デジタルに不慣れな町民を含め、全ての住民へ対応した柔軟なシステムが完成できた。特に、ワクチン接種では、IVR システムの活用により、WEB での申請に不慣れな町民へ電話での自動音声応答対応が実現できた。

今後の展望

町行政の推進にあたって、特に先行きが不透明な分野については、事前に詳細な計画を定めることのない「アジャイル型」EBPMにより推進する。（現在、公共交通活性化に向けたプロジェクト全体をこの手法で推進）

協力企業

株式会社ソーシャル・エックス（本社：東京都渋谷区、代表者：伊佐治幸泰・伊藤大貴）との「官民共創」により実現。